

令和6年度 徳島県公共事業評価委員会資料

【森林土木・保全課】

林道開設事業

★ 高越二戸線【番号7】

世戸谷栗山奥線【番号8】

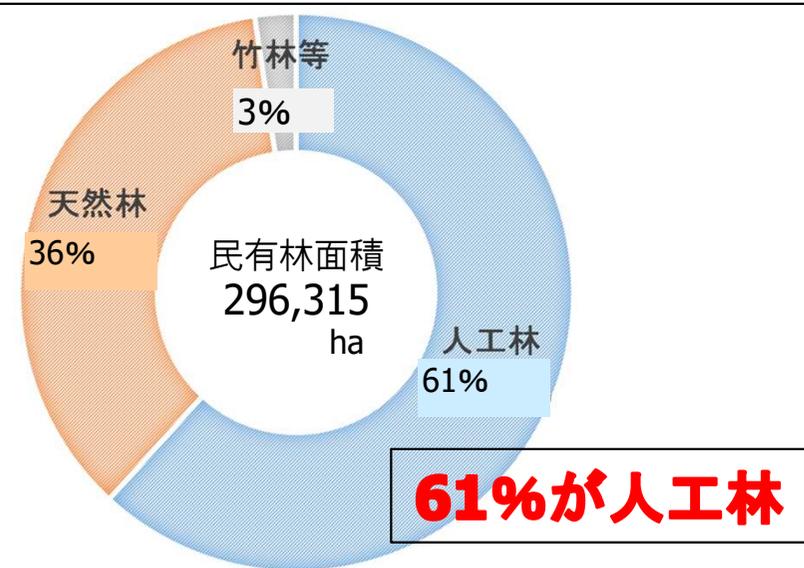
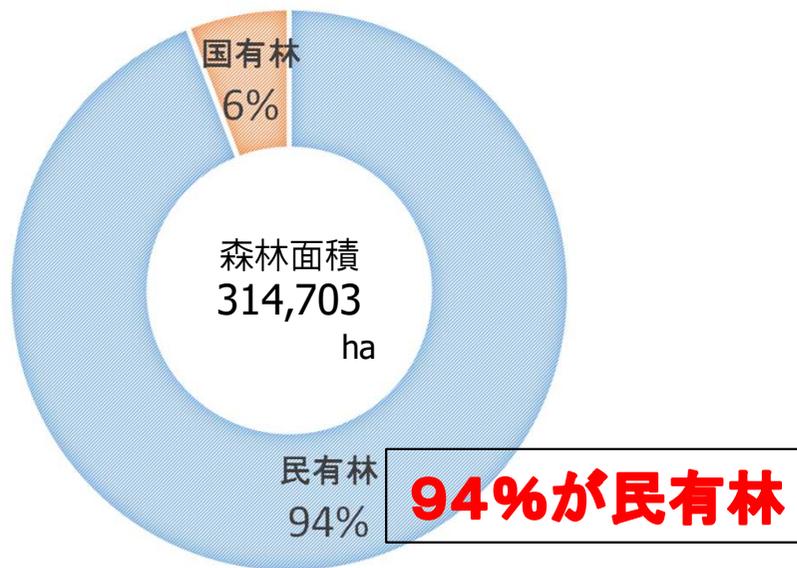
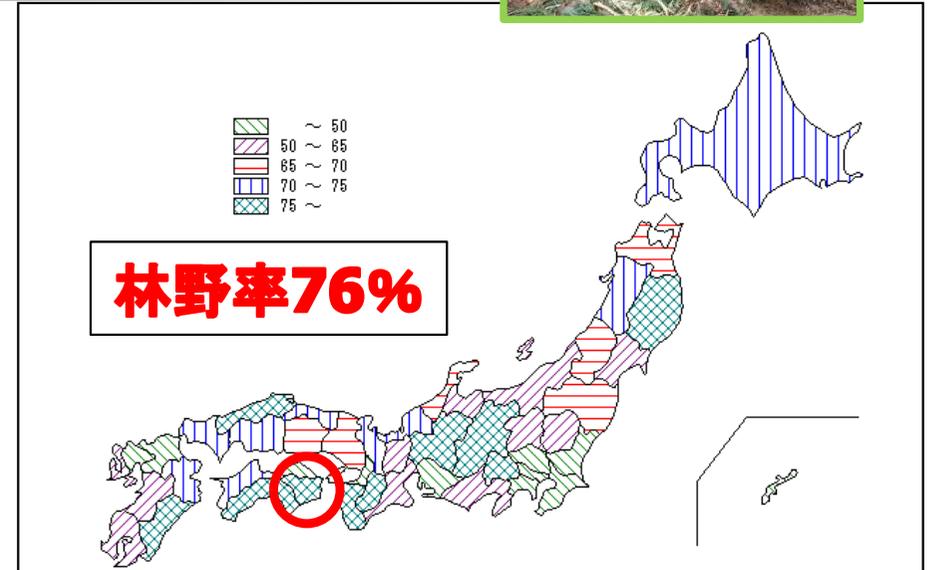
徳島県の森林・林業について

(1) 主要指標



項目	単位	全国	徳島県	順位
森林面積	ha	25,024,810	314,703	29
国有林	ha	7,656,573	18,388	34
民有林	ha	17,368,237	296,315	25
林野率	%	66.4	75.5	9
人工林率	%	40.3	60.5	9

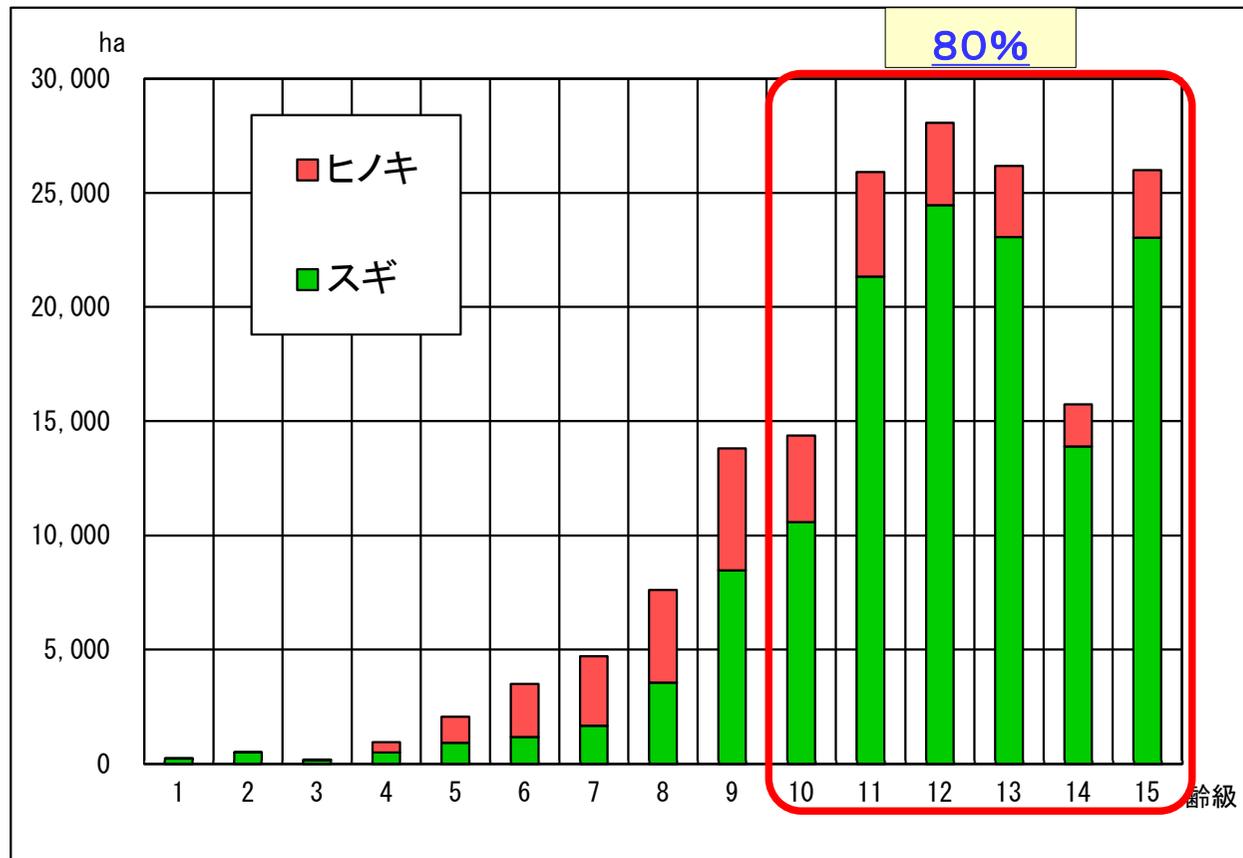
※ R6年度版「みどりの要覧」より



徳島県の森林・林業について

(2) 森林資源の状況

スギ、ヒノキ人工林齢級構成



人工林面積の約8割が
10齢級(46年~)以上

収穫期

徳島県の森林・林業について

(3) 林業プロジェクトと主な成果

林業プロジェクトの展開

林業再生プロジェクト
(H17~H18)

林業飛躍プロジェクト
(H19~H22)

次世代林業プロジェクト
(H23~H26)

新次元林業プロジェクト
(H27~H30)

スマート林業プロジェクト
(R元~R4)

主な成果

県産材の生産量 H16: 174千m³ → R5: 342千m³

新規林業就業者 R5: 587人 (H17~)

県産材の自給率 H16: 22% → R5: 50.8%

県内木材消費量 H16: 54千m³ → R5: 121千m³

林内路網開設延長

H16: 5,302km

R5: 8,422km

徳島県の森林・林業について

(4) 徳島県森林・林業施策の推進について

施策の体系

- 1 多様な人材の育成・確保
- 2 森林の価値を高めるDX・GXの推進
- 3 成熟した資源の利用
- 4 多様な主体による森林の保全・管理

対象期間
令和6年度～
令和10年度

主な成果指標

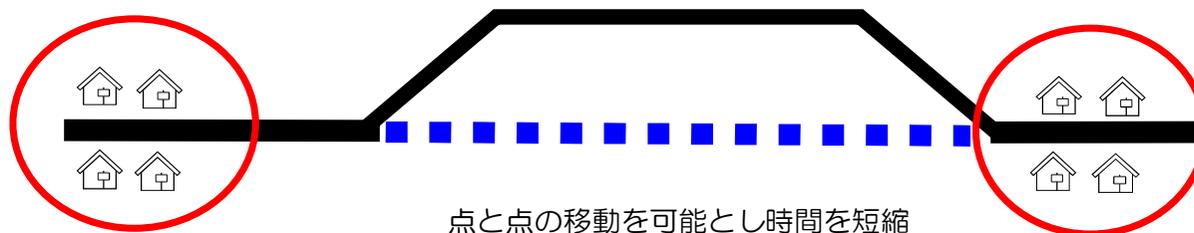
	現状（令和4年度）	目標（令和10年度）
・新規就業者数	42人	200人
・ 県産材の生産量	41.8万m³	60.0万m³
・県産材の海外輸出額	350百万円	400百万円
・Jクレジットの販売量	253 t	2,000 t



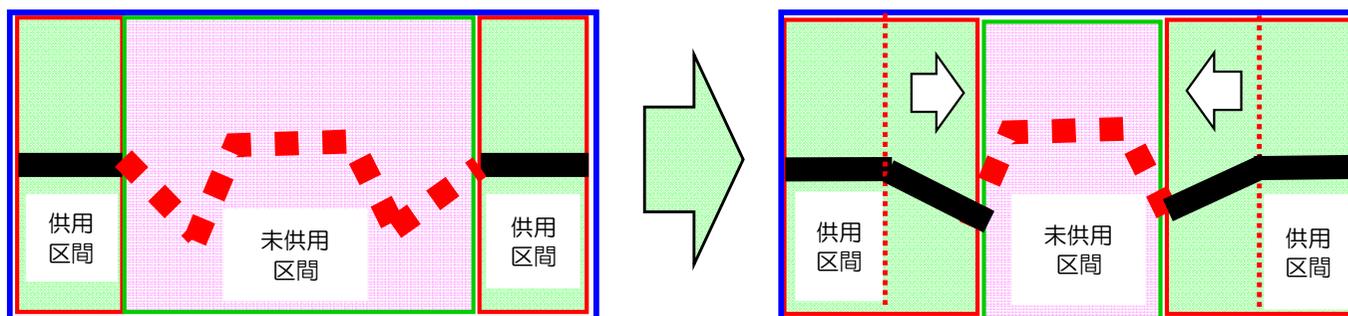
林道事業の概要

(1) 林道整備の目的と発揮される効果①

国道・県道等（目的：つなげて効果を発揮）移動時間の短縮、街と街を最短距離で接続



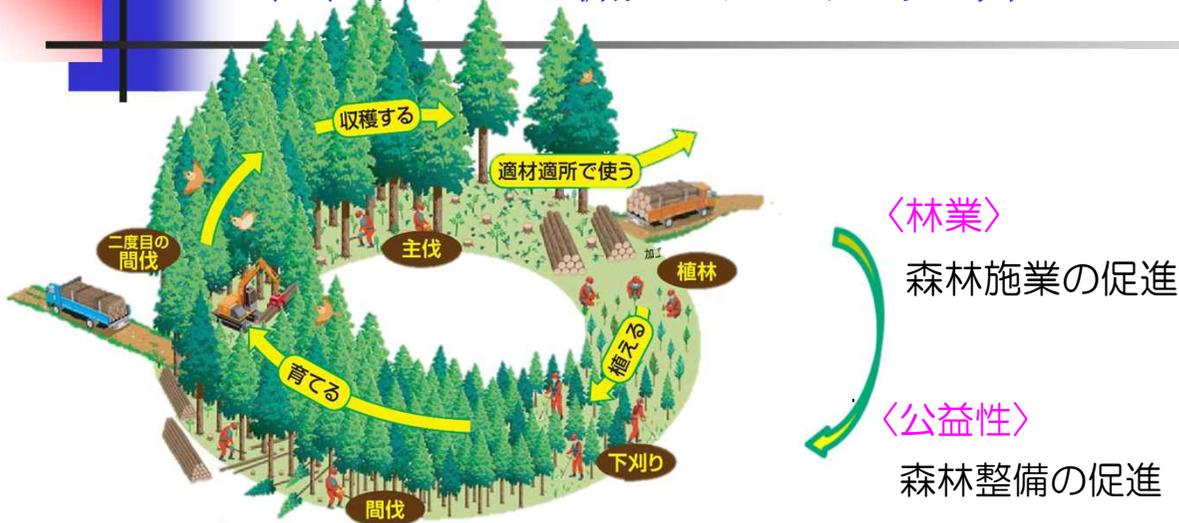
林道（目的：延伸する毎に効果を発揮）森林資源の利活用、森林整備の促進



伸びる事で森林整備の可能なエリアが拡大

林道事業の概要

(1) 林道整備の目的と発揮される効果②



林道整備による効果

- 森林施業の低コスト化
- 木材生産・輸送の効率化
- 持続的な森林経営

特定の受益者

- 森林資源の循環利用
- 森林の公益的機能が発揮

不特定の受益者



- ①洪水防止
 - ②流域貯水
 - ③水質浄化
 - ④土砂流出防止
 - ⑤土砂崩壊防止
 - ⑥温室効果ガス吸収 (吸収源対策)
- (水源の涵養)
- (山地保全)

(参考) 森林資源の循環利用について

伐採



搬出



製材



木造施設



伐期



苗木生産



植林



「資源の有効活用」と
「人工林の若返り」が重要



「森林資源の循環」
の確立

切捨間伐



下刈り



林道事業の概要

(2) 整備方針

効果的な施業に繋げる配置



環境に負荷をかけない線形



地形に沿った線形

環境配慮型の構造

発生土の利用



木材の利用

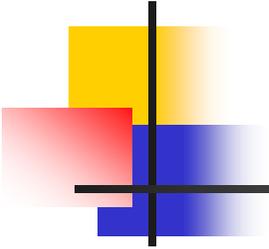
林道開設事業の再評価

○今回再評価（林道開設事業：全2件）

共通事項

- ・森林の有する多面的機能を発揮させるとともに、持続的な森林経営の実現に向けて、森林施業や木材等の輸送を効率的に実施するため、林道を基幹とした路網整備を実施している。
- ・関係する市及び森林所有者等地元の関係者からは、事業の早期完成を要望されている。

番号	路線名	箇所名	全体事業費 (百万円)	利用区域面積 (ha)	事業内容 (計画延長m)	事業 採択	完了 予定	進捗率 (%)	B/C	代表 説明
7	高越二戸線	美馬市	4,896	1,167	16,400	H6	R32	33	1.7	○
8	世戸谷栗山奥線	三好市	1,160	562	10,540	H27	R21	36	2.1	



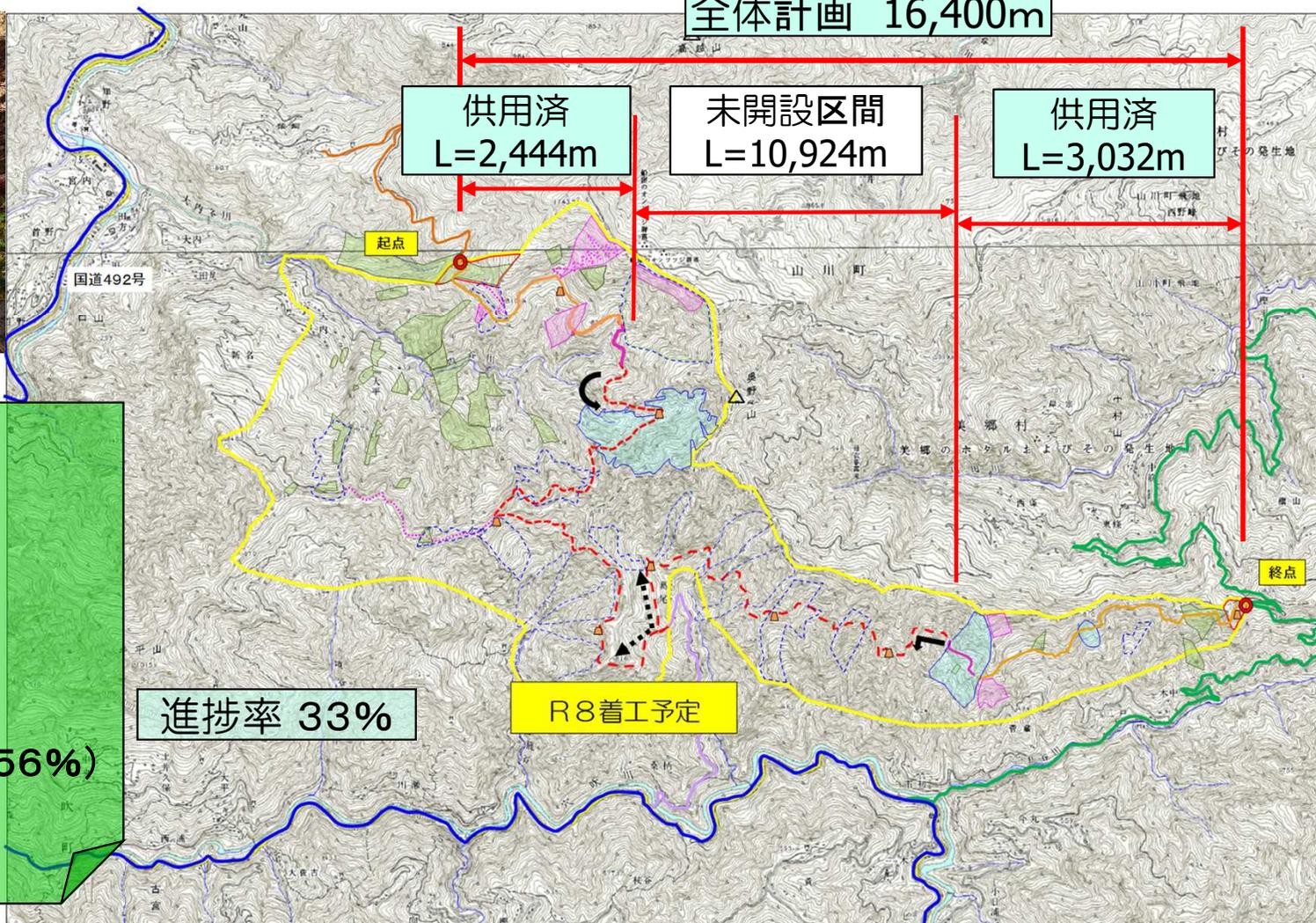
令和6年度 徳島県公共事業評価委員会

7. 林道 高越二戸線

林道 高越二戸線

(1) 事業概要

高越二戸線

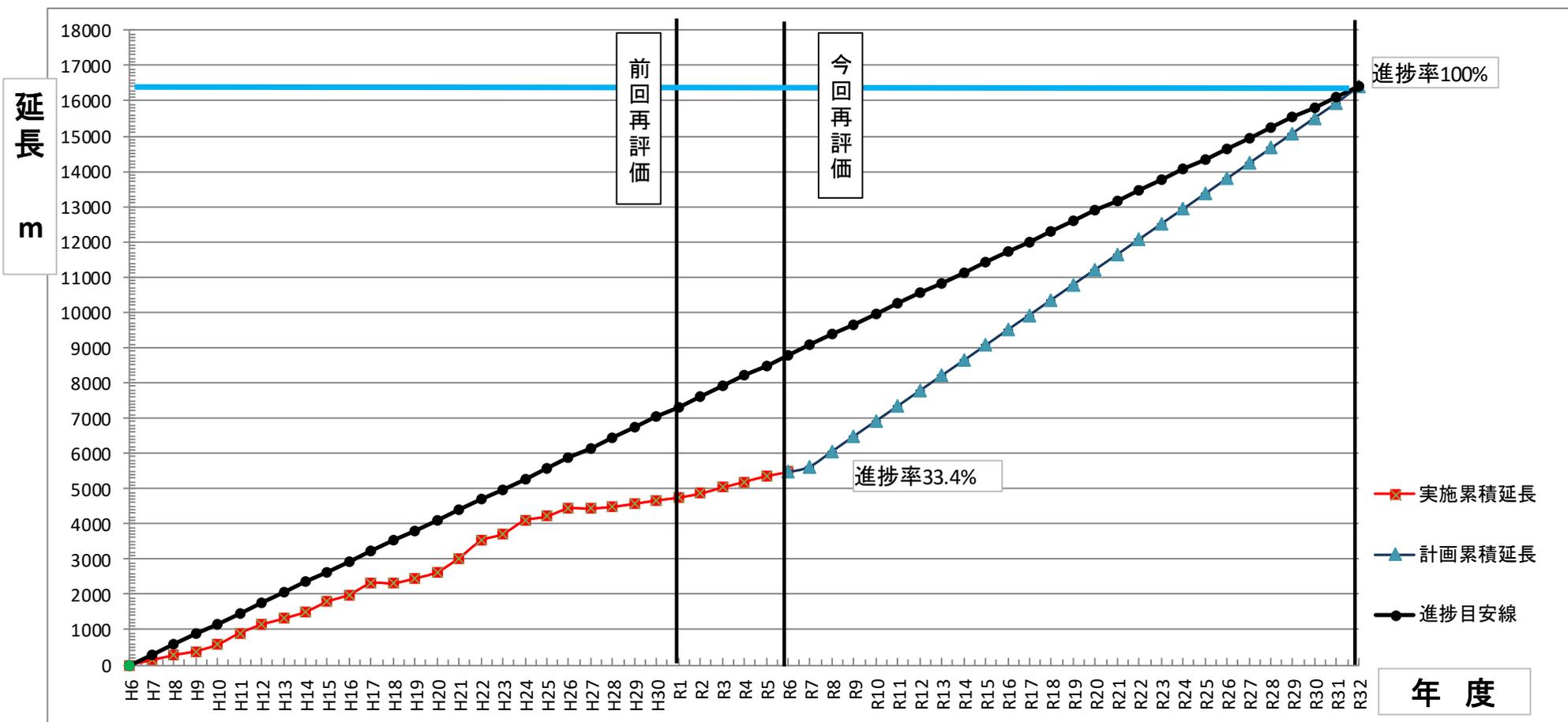


幅員 3.5~4.0m
延長 16,400m
総事業費 4,896百万円
事業期間 57年間
(H6~R32)

利用区域面積 1,167ha
(利用区域内の人工林率=56%)
(美馬市穴吹町、木屋平)

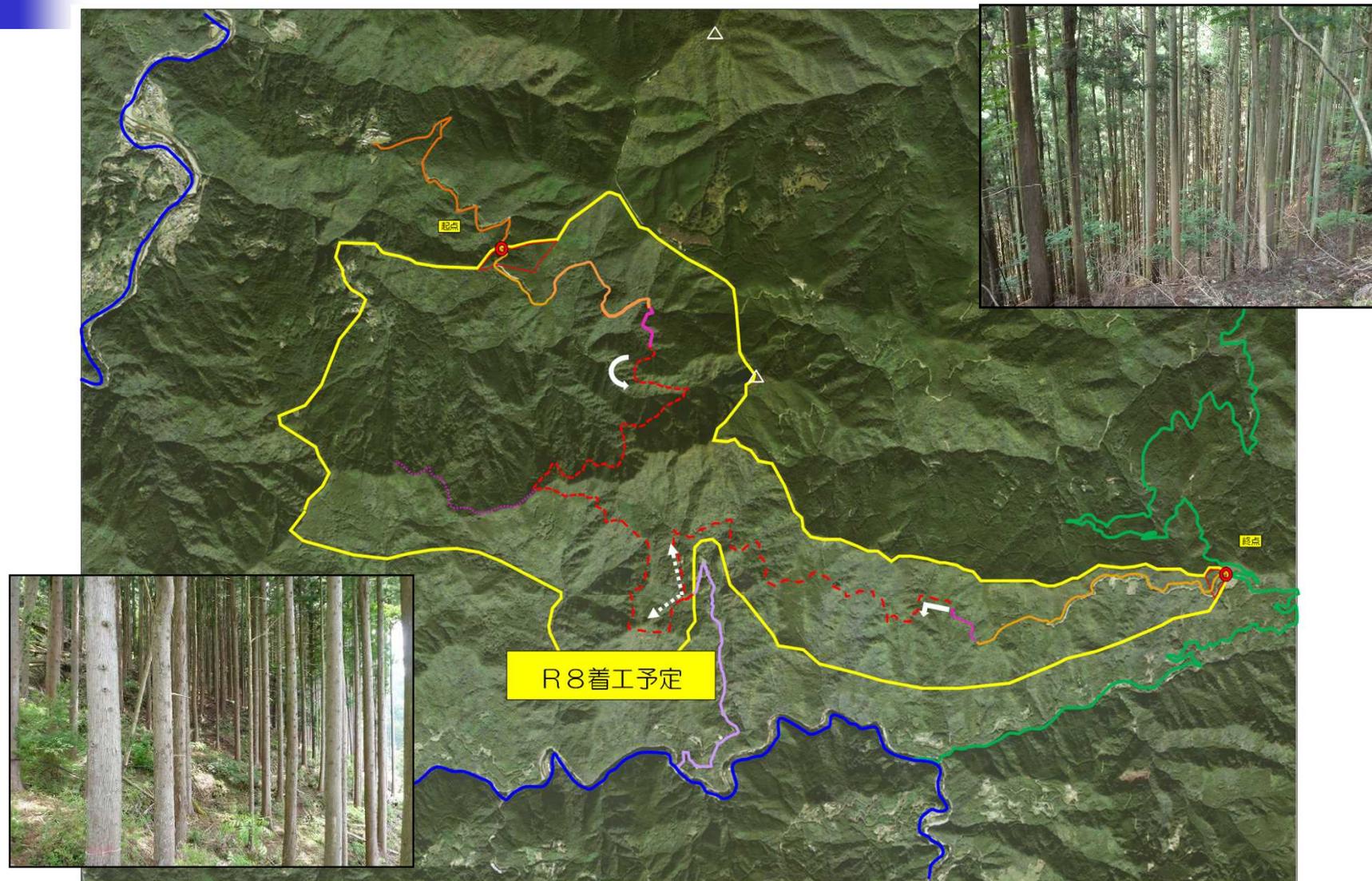
林道 高越二戸線

(2) 進捗状況



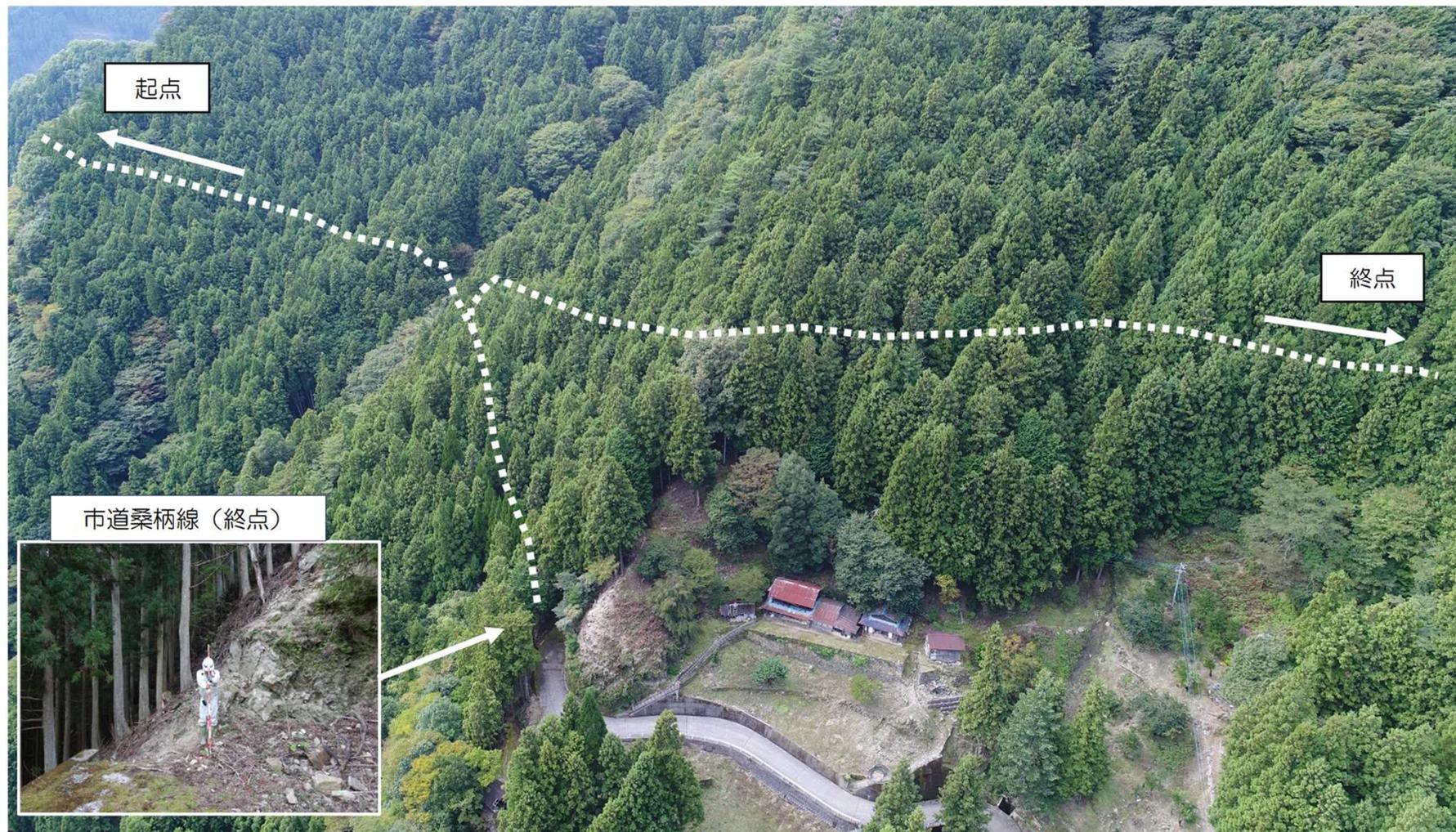
林道 高越二戸線

(3) 林道周辺の状況



林道 高越二戸線

(4) 新たな工区(予定地)について



林道 高越二戸線

(5) 木材生産

伐倒後



枝払い・玉切作業



トラック積込



集材作業

林道 高越二戸線

(6) 森林整備の促進に向けた取り組み

森林施業に必要な作業道の接続路や作業ポイントの設置場所等について、関係者から意見を収集し、今後の測量計画に反映させる。



林業事業者等を対象とした林道整備計画の情報共有



林業事業者、プランナー等との森林整備計画の意見交換

費用対効果

総便益

- 1 木材生産等経費縮減便益
- 2 木材利用増進便益
- 3 木材生産確保・増進便益
- 4 造林作業経費縮減便益
- 5 森林管理等経費縮減便益
- 6 森林整備促進便益

93億3,580万2千円

総費用

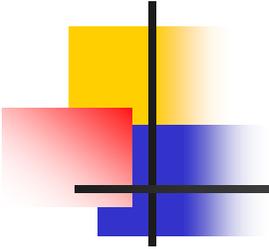
事業効果発現に必要な費用

55億5,185万2千円

$$\text{総便益} / \text{総費用} = 1.68$$

■ 今後の対応方針（案）

事業継続

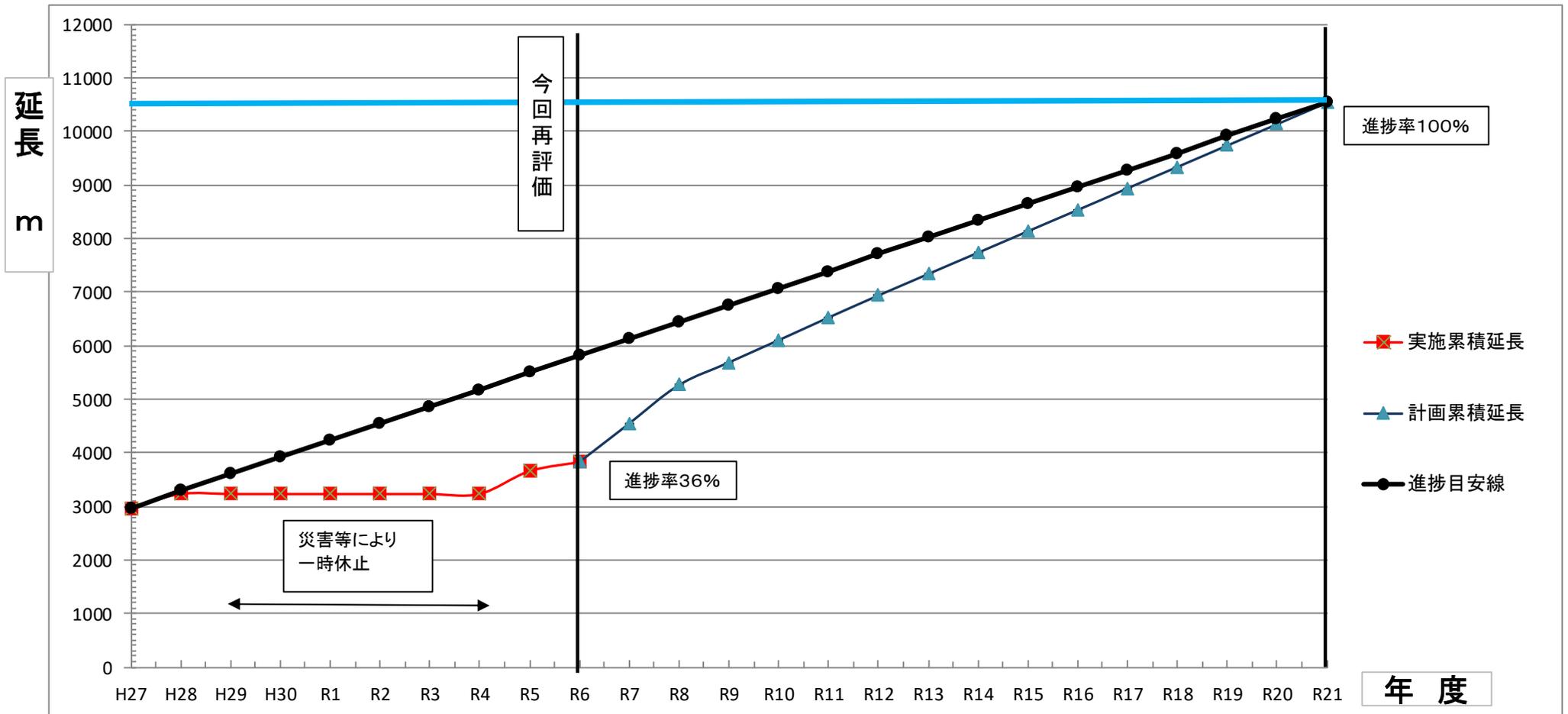


令和6年度 徳島県公共事業評価委員会

8. 林道 世戸谷栗山奥線

林道 世戸谷栗山奥線

(2) 進捗状況



費用対効果

総 便 益

- 1 木材生産等経費縮減便益
- 2 木材利用増進便益
- 3 木材生産確保・増進便益
- 4 造林作業経費縮減便益
- 5 森林管理等経費縮減便益
- 6 森林整備促進便益

21億9,043万2千円

総 費 用

事業効果発現に必要な費用

10億6,772万6千円

$$\text{総便益} / \text{総費用} = 2.05$$

■ 今後の対応方針（案）

事業継続